

成果指標				
成果指標	緊急対応率(3日以内に漏水修理を完了した件数÷漏水発見件数×100)カッコ内は、1件当たり費用(単位:千円)			
指標設定の考え方	緊急対応率により本事業の成果を把握することが可能なため。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	100(28)	100(28)	100(28)	0
実績	88(33)	87(31)	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	緊急な漏水により修理をする際、不明である管の種類及び埋設位置等が判明することにおいて、常に情報の整理を行い、計画的な老朽管更新事業に取り組むことで、耐震性及び有収率の向上を図る必要性がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	緊急な漏水や漏水調査及び市民からの通報等で発見された漏水を修理するには、管の種類及び埋設位置等の情報を適確に把握することが、計画的な老朽管更新事業に取り組めるので、漏水の減少、有収率の向上につながり、水資源の有効活用並びに水道事業の経費削減が期待できる。また、漏水修理体制の確立が、早期の漏水防止対策につながるために、包括的業務委託等を含めた組織づくりの検討も必要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題